

近藤みゆき先生を偲んで

「何があっても、ずっとここで仕事をしていたいと思う。卒業生たちが帰ってくる場所でありたいから。」今でも強く印象に残っている近藤先生の言葉です。

近藤先生との出会いは、今から12年前。ちょうど近藤先生が研修から戻ってきた年に私は実践女子大学国文学科に入学しました。古典が大好きだった私は、迷わず近藤先生の授業を選択し、そして近藤ゼミに入りました。今までの学生生活、様々な先生と出会ってきましたが、こんなにも心を通わせ、感謝をしている先生は他にいるだろうかと思うほど、近藤先生から受けた影響は大きいものだと思います。

近藤先生は、とても心がきれいで温かく優しい人でした。

柴 崎 沙 綾

就職活動の際、私はひどく思いつめていました。自分自身でもどうしてよいかわからず思い悩んでいた時、ふと近藤先生の顔が浮かび、私は先生にメールを送りました。この時は、相談があるためお時間をいただきたい旨を送っただけでしたが、送信後、すぐに先生から電話が来ました。先生の声を聞いて私は思わず泣いてしまいました。温かい言葉をくださり、強がって気丈にふるまってしまう私の心を解きほぐし、自信を与えてくださいました。後に先生にこの時の話を聞くと、いつもと様子が違うと感じたから、とても心配ですぐにでも話がしたかったと言ってくださいました。そして、無事、内定を頂くことができ、報告に行くと近藤先生は、はじけた笑顔で少し目を潤ませて、両手を握って飛び上がって喜んでくださいました。誰よりも内定

の知らせを喜んでくれたのは近藤先生でした。

卒業後、食事に連れて行っていただく機会がありました。母校を思い大学に足を運ぶ機会もありました。うれしいことや辛いことがあった時、近藤先生に会いたいと自然と大学に足が向きました。近藤先生がおっしゃっていた「卒業生が帰ってくる場所」がそこにはありました。

在学していた頃から持病を抱えているということは伺っていました。近藤先生が命懸けでやり抜いてきたものの大きさや深さに圧倒されます。その想いは、こうして時が経っても色褪せることはありません。卒業後も、そして今もこの執筆に携わるといふ近藤先生とのご縁はいつまでも続いていくものであると確信しています。近藤みゆき先生のご功績に深甚なる敬意を表し、謹んでご冥福をお祈り申し上げますと共に、先生との思い出を書かせていただき追悼とさせていただきます。

(しばひやわ さや・平成23年度卒業生)

